

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

田辺工業高が好成績

研究発表 田尾君は最優秀賞



研究発表大会で優れた成績を収めた
田辺工業高校の生徒

田辺市あけぼのの田辺工業高校機械科3年生の田尾隼人君が、14日に紀の川市であった「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト研究発表大会」で最優秀賞を受賞した。ほかにも同校の生徒は優秀賞などに選ばれた。

県と県内の工業高校、企業関係者などでつくるわかやま産業を支える人づくりネットワーク会議、県高校教育研究会工業部会が主催。5校24組が取り組んだ課題や研究の成果をポスターセッション形式で発表し、最優秀賞1点、優秀賞2点、審査員特別賞5点が決まった。

田尾君のテーマは「若年者ものづくり競技会(フライス盤職種)への挑戦」目指せ技能で日本一!。競技会の概

要や課題の制作過程、出場の感想などを発表した。最優秀賞を受け、田尾君は「自分の持っている技術を認められてうれしい」と話した。

田辺工業高校からは「コメント製作から板金溶接技術を学ぶ」をテーマにした機械科3年生の上野祐人君、田畑彰大君、柴田陽平君、宮本健広君、「地元小学校の体育用品の製作」をテーマにした機械科3年生の笠松菜那さん、本田朔也君が優秀賞に選ばれた。審査員特別賞には「メッシュ工法による接地抵抗値の低減についての研究」をテーマにした電気電子科3年生の田中克真君、竹内大喜君、小山貫一君、小谷真司君、田端裕征君、佐々木英昭君、田川航汰君が入った。

同じ日に同会場であった工業教育研究発表大会研究部門では、同校機械科3年生の大仲紇君と東郷将季君の「電動バイクの製作について」が優秀賞、作文部門では機械科3年生の白総新君の「後輩に向けて」が佳良賞を受賞した。